

# 一般質問通告書

【第70回定例会】

多可町議会議長 河崎 一 様

多可町議会議員 日原 茂樹



受 領 日	番号
平成28年 6月 9日	
午前・午後 9時 30分	10

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 青パト、公用車にドライブレコーダーの設置を	町長
2. 通学路の安全対策は万全か	教育長

## 質 問 の 内 容

### 1. 青パト、公用車にドライブレコーダーの設置を

近年、安全運転への意識啓発と、事故発生時の迅速な処理を行うため、公用車にドライブレコーダーを設置する例が多く見られるようになりました。ドライブレコーダーは車載型の映像記録装置であり、主に走行中の映像データを記録するために設置され、これまでは警察車両や事業用のトラック、タクシーなどに設置されていましたが、近年、低価格化や設置のしやすさなどから一般の乗用車にも普及が進んでいます。

ニュース番組などでドライブレコーダーが記録した事故映像や犯罪目撃映像、無謀運転目撃映像などをご覧になられた方も多くいらっしゃると思います。防犯カメラ同様、事故記録とともに、事故抑止にも効果を発揮しています。たまたま運転中に目撃した事故や犯罪を記録できるという点もあります。

移動中もしくは停車中の車内から前方映像を記録できるドライブレコーダーを青パトに設置すれば移動可能な街頭防犯カメラとして非常に有効であり、単純に走行しながら人間の目だけでパトロールをするよりも、走行しながら映像で記録しているほうが、犯罪者の心理に強い影響を与えることになり、従来に比べて強力な犯罪抑止効果が期待できるのではと思われます。

公用車へのドライブレコーダー設置に関しては、すでに多くの自治体で導入されている実績があり、兵庫県では猪名川町が、平成25年10月より町の公用車55台、消防車・ポンプ車などの消防車両12台と水道関係車両6台の計73台にドライブレコーダーを設置しています。加東市でもドライブレコーダーを順次、設置していく方針を固めています。こうした流れを見ると今後、公用車へのドライブレコーダー設置はますます加速すると思われます。

このドライブレコーダー設置による効用につきましては、単に事故やトラブルの際の当事者責任の明確化や事故処理の迅速化等だけでなく、職員の安全意識やモラルの向上等にも効果が期待でき、ヒヤリ・ハット事例の収集により、また広く安全教育を行う面でも活用できる可能性があると考えられます。更には、動く防犯カメラ的な役割も果たすことが指摘されており、神奈川県大和市では、公用車に青色回転灯を設置しパトロールするなど、地域の安全向上に役立てている事例もあります。

費用も最近では1台当たり1万円程度で入手できるため設置が進めやすくなっております。埼玉県坂戸市の例をみますと設置費用は情報記録用のメモリーカードを含めて1台9240円であり、取り付けは職員が行うため多額の費用はかかりません。

町では、このドライブレコーダーの有効性についてどのように認識されてい

るのでしょうか。青パトや公用車へのドライブレコーダー設置により、多可町の安心安全のまちづくりが一層進むと考えられますが、町長の所見をお伺いします。

## 2. 通学路の安全対策は万全か

平成24年4月に京都府亀岡市で軽自動車が集団登校中の児童と保護者の列に突っ込み3人が死亡、7人が重軽傷を負う事故が起きて、その後も千葉県館山市や愛知県岡崎市、大阪府中央区で登下校中の児童を巻き込む交通事故が起きています。毎年のように悲惨な登下校中の事故が相次いでいます。

平成27年版交通安全白書によると、平成26年の交通事故死者数は4,113人となり、14年連続で減少しており、過去最悪であった昭和45年の1万6,765人の4分の1以下となりましたが、それでもかなりの数であると思われます。平成25年度の登下校中の交通事故による児童生徒の死者数は37人、負傷者数は2万4,938人に上ります。しかもこの交通事故死傷者数の中には、歩行中が占める割合が上昇しており、交通事故死傷者の状態別で見ると2007年以前は自動車乗車中が最多でありましたが、2008年以降は歩行中が自動車乗車中を上回る結果となっております。

国は亀岡市の事故を受け、文部科学省、国土交通省及び警察庁が連携して、全国の公立小学校及び公立特別支援学校小学部の通学路について、交通安全の確保に向けた緊急合同点検を通達し、多可町においても7つの小学校で緊急合同点検を実施し、対策必要箇所が33箇所見つかりました。

その結果、教育委員会と関係機関が安全対策を検討して、道路交通環境の改善や交通指導、交通ボランティアによる保護活動など、ハード、ソフト両面にわたる対策がされてきました。

多可町では通学については、学校、保護者はもちろん、地域住民の皆さんの協力のお陰で安全に登下校していますが、いつどこで事故が起こるか分かりません。子ども達自身も十分気を付けなければならないと思いますが、子ども達の危機意識向上を図るための交通安全教育については、どのようにされているのでしょうか。

子どもの視点で通学路の安全調査を実施して安全確保のため、学校や地域、PTAとも連携を強化して情報の共有化を図ることも大切だと思います。

平成27年1月には「多可町通学路交通安全プログラム」を策定し関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように、新たな通学路の安全確保に向けた取り組みがされていますが、通学路の安全対策は万全でしょうか。教育長の所見をお伺いいたします。